

CBT（Computer Based Testing）とは、コンピュータ使用型調査のことであり、文部科学省では公的なCBTプラットフォームである「MEXCBT」（メクビット）を開発・普及を進めています。



本号では、MEXCBTに係る北海道教育委員会の取組について紹介します。

「『MEXCBT版』ほっかいどうチャレンジテスト」について (北海道教育庁学力向上推進課)

学力向上推進課ではMEXCBTに、ほっかいどうチャレンジテストの一部を掲載しています。本年2月には、協力校において2学期末問題の配信から実施、結果集約までを試行的に行うなど、各学校におけるMEXCBTの一層の活用に向けた取組を進めています。

【『MEXCBT版』ほっかいどうチャレンジテスト（算数）】

【協力校の感想等】

- ・テストの結果をすぐに確認できることは、児童生徒が自ら学習を調整しながら学ぶことにつながると感じた。
 - ・実施後、すぐに結果が表示されることにより、児童生徒の学習状況に応じた迅速な授業改善が実現できると思う。
 - ・教師にとっては、これまで行ってきた採点業務や結果の入力作業が軽減され、便利だと感じた。
- など

「MEXCBT（メクビット）」の利用について

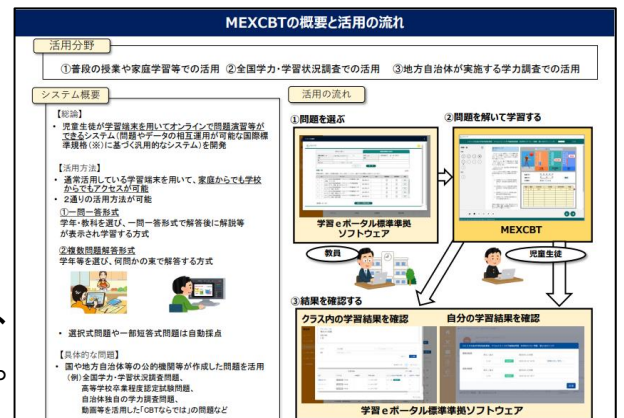
MEXCBT（メクビット）には、国や地方自治体等の公的機関等が作成した小・中・高等学校で活用することができる問題約30,000問が掲載されています。

利用に当たっては、学校設置者による申込みが必要となることから、利用を希望する学校は、学校設置者に御相談いただくようお願いします。

なお、MEXCBTに係る資料等は文部科学省Webページで公開していますので、御参照ください。

<文部科学省WebページURL>

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00001.html



【文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）についてより】



今号のコラム

通信ネットワーク環境の活用に関する学校の取組

GIGAスクール構想によって整備された児童生徒の1人1台端末は、通信ネットワーク環境の下で用いることにより、その機能や特性を最大限発揮することができます。ここでは、1人1台端末の日常的な活用に向けて、通信ネットワーク環境の整備や活用を進める学校の取組を紹介します。

モバイルWi-Fiルータを有効活用～北海道千歳高等学校～

北海道千歳高等学校では、モバイルWi-Fiルータ（SIMカードなし）を差し込んだクレードルを校内LANコンセントに接続し、無線アクセスポイント（APモードに設定）として活用しています。これをWi-Fiがない教室等に設置することで、ICT活用の幅を広げています。

※クレードルとは、モバイルルータの充電や有線LAN接続に使用するスタンド型の拡張機器です。この方法で活用すると通信費はかかりません。



【無線LANアクセスポイントとして活用】

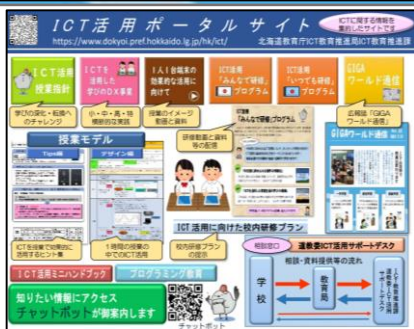
校外での学びに生かす取組～幌延町立幌延中学校～

幌延町立幌延中学校では、見学旅行での交流学习などの際、クラウド上のデータを活用して説明することや、必要に応じてインターネット検索を行うなど、生徒が1人1台端末を持参し学びを深めています。教員が持参したモバイルWi-Fiルータを活用し、通信回線を確保することにより、校外においても1人1台端末の効果的な活用が図られています。



【国際交流員へ幌延町のことを紹介】

各学校におけるICT活用に関する校内研修の充実に向けて



ICT教育推進課では、各学校におけるICT活用に関する校内研修の充実に向けて、「ICT活用に向けた校内研修プラン」や、オンライン研修プログラム「ICT活用『みんなで研修』プログラム」及び「ICT活用『いつでも研修』プログラム」をICT活用ポータルサイトに掲載していますので、ぜひ御覧ください。

URL: <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/ict-portalsite.html>



ICT教育推進課のページ



まずはこちらへ！

ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が利用できるようになりました！

「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます！

「いつでも研修」プログラム



1人1台端末の操作研修はこちらへ！

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

